

善五郎の滝

善五郎の滝は 43,000 年ほど前に起こった乗鞍岳の前回の噴火の後に、火山岩から生じました。この滝は比較的大きく、幅 8 メートル、落差は 21.5 メートルあります。岩の浸食により、滝は少しずつ上流へと移動しています。

この滝は、善五郎という名のきこりが釣りをしていたときに巨大なイワナによって危うく川に引きずり込まれそうになった、という地元の伝説に因んでその名を付けられました。彼は命からがら助かったという話で、以来彼の名前はこの滝に結びつけられています。

冬になると、日照不足のため水が深い青色に凍結し、完全に凍り付いた滝はスノーシューイングの人気スポットになっています。付近を通るいくつかの登山道は乗鞍周辺の他の多くの滝や景勝地に繋がっています。